

国立精神神経医療研究センター病院身体リハビリテーション部

住所：〒187-8551 東京都小平市小川東町4-1-1
TEL：042-341-2711



責任者からのコメント

当院は我が国にある6つのナショナルセンターの一つとして、精神・神経・筋疾患、小児疾患の克服を目指して、最先端の研究成果を臨床現場に還元し、患者さんの健康の向上に寄与すること、また最先端の治療の開発に努める使命を担っております。身体リハビリテーション部として、これらの疾患に応じた適切なリハビリテーションの提供と、機能の向上に寄与するリハビリテーションの開発、就労や就学の支援など社会参加の促進を行っています。また各種研究所が隣接しており、シームレスな連携のもと先進医療の開発に努めております。

リハビリテーション科医師（2022年10月現在）

責任者：原 貴敏（部長） 指導医：原 貴敏

他：常勤医師 2名 レジデント1名 非常勤医師 2名

総病床数：486、一般床：295、精神病床191、リハ科病床数：適宜、

身体リハビリテーション科：理学療法士25名、作業療法士16名、言語聴覚士5名

研修病院としての特徴

1. 脳血管・神経筋疾患・小児疾患領域を中心とした多彩な分野の症例を経験できる

神経筋疾患の症例数が特に豊富であり、各疾患の運動障害・高次脳機能障害・発達障害・呼吸障害・言語機能障害・摂食嚥下障害等に対する評価・マネージメントを総合的に研修できます。特に代表的な神経筋疾患である、パーキンソン病・脊髄小脳変性症・多発性硬化症・筋萎縮性側索硬化症、筋ジストロフィー、その他の発達障害等の疾患経過について多数経験できる。また、補装具・歩行補助具・車椅子・福祉機器及び地域サービスに関する知識を深め、導入ができるようになる。

2. 多職種連携と充実した他科カンファレンス

他科からのリハビリテーション依頼に対して、患者の機能評価・リハビリテーションのゴール設定・リハビリプログラム作成を行う。進行性の神経筋疾患の動作解析を含めた運動機能評価、運動療法の介入とその効果判定を通じて、他疾患にも応用できるリハビリテーションアプローチを経験することができます。摂食嚥下機能障害、褥創、呼吸障害に対する多科多職種によるチームアプローチを行っています。特に呼吸リハビリテーションに関しては、当院独自の呼吸ケアサポートチームや呼吸リハビリテーション器具を用いて神経難病に対する最新の呼吸リハビリテーションを学ぶことができます。

3. 先進医療とリハビリテーション

当診療部は、2022/7 ニューロリハビリテーション外来を開設しました。脳血管疾患、神経筋疾患による身体の障害に対して、最新の評価機器を用いて、最適なリハビリテーションの提供を目指しています。また近年、神経筋疾患においては新薬の導入が進められており、当院でもそれら新薬の治験の評価、新薬導入後のリハビリテーションの提供と、機能向上を目指したリハビリテーションの開発を行っています。

